

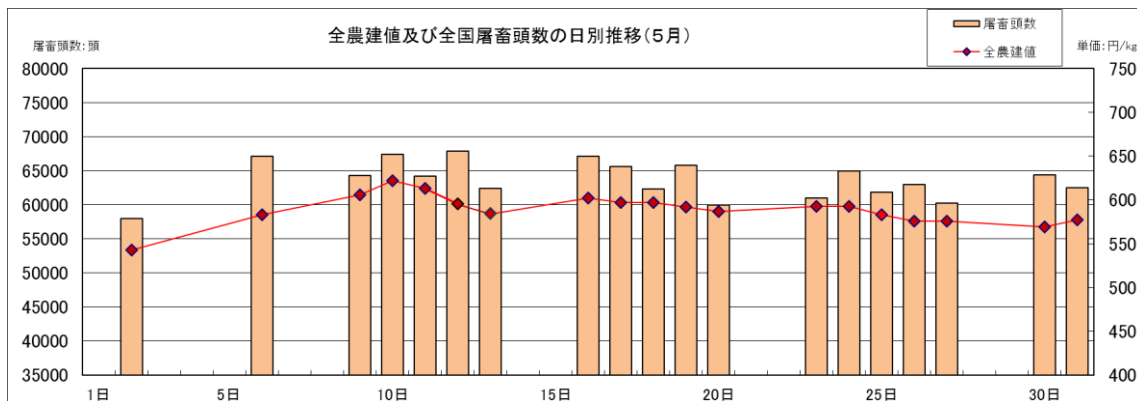
肉豚インフォメーション（5月）

【全農建値】

2022年5月（税抜）	2021年5月（税抜）
589 円/kg（123 円高）	466 円/kg

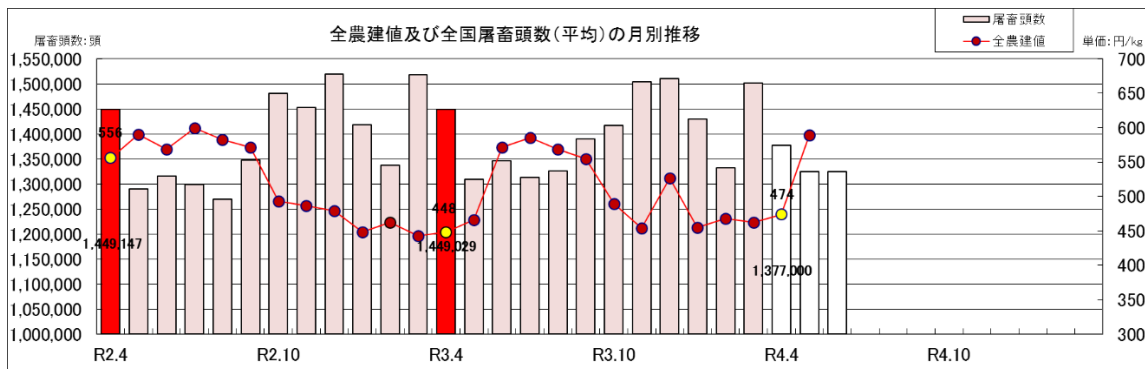
※過去 30 年で 2 番目に高い相場
1 番高い相場は 590 円（2020 年）

5 月は、新型コロナウイルスの影響による家庭内消費が旺盛だった 2020 年 5 月に次ぐ高い相場で推移した。上旬は連休明けの補充買いが見られ、中旬には 600 円を超える展開となった。下旬にかけて出荷頭数 6 万頭前後で推移する中、横ばいの相場展開となった。



6月以降の動向

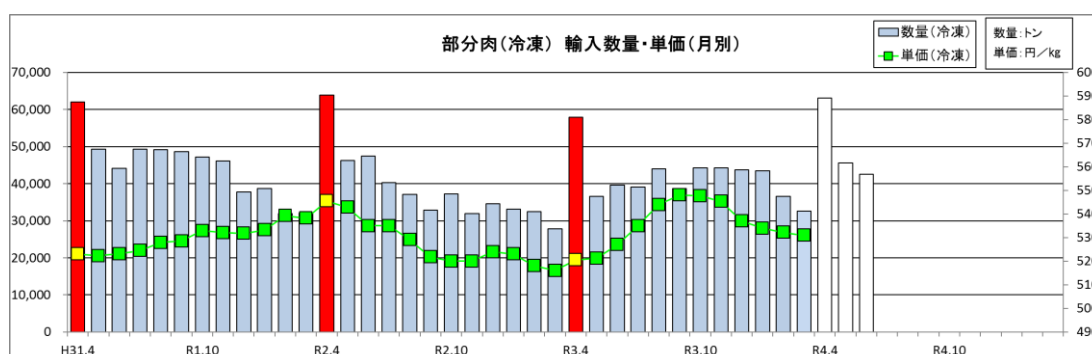
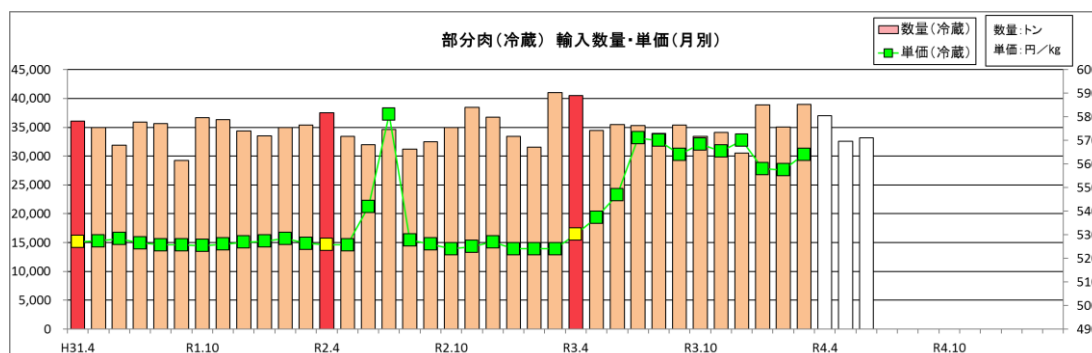
6月の出荷頭数は、前年同月をわずかに下回ると予測されている。



冷蔵品輸入量は、北米の国内需要の増加や為替相場の変動による現地価格の高騰等から、5月はやや、6月はかなりの程度、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、前年同月の輸入量が、新型コロナウイルス感染症の影響による外食需要の減少や、アジア諸国を中心とした旺盛な買い付け等に伴う現地価格の高騰により少なかったこと等により、5月は大幅に、6月はかなりの程度、いずれも前年同月を上回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなり大きく上回ると予測する。

（ALIC 豚肉の需給予測について 5月26日）



外食需要が回復の兆しを見せる中、資源価格高騰によるインフレ圧力の高まりが家計消費を抑制することが懸念され、先行きは不透明さを増している。

輸入物は引き続きタイトな状況となっており、チルドは供給不安が続き、フローゼンは現地価格が高騰しているため、今後も国産物へのシフトが予想される。

また、2018年9月に国内再発生後、県内では初めてCSF（豚熱）が発生するなど関東主要産地での発生が続く中、飼養衛生管理基準の徹底が求められる一方、今後国内外の旅行客増加も想定されるため、人の活動や車両の移動による長距離伝播の可能性もあり、水際対策等の官民をあげた対応が必要となっている。

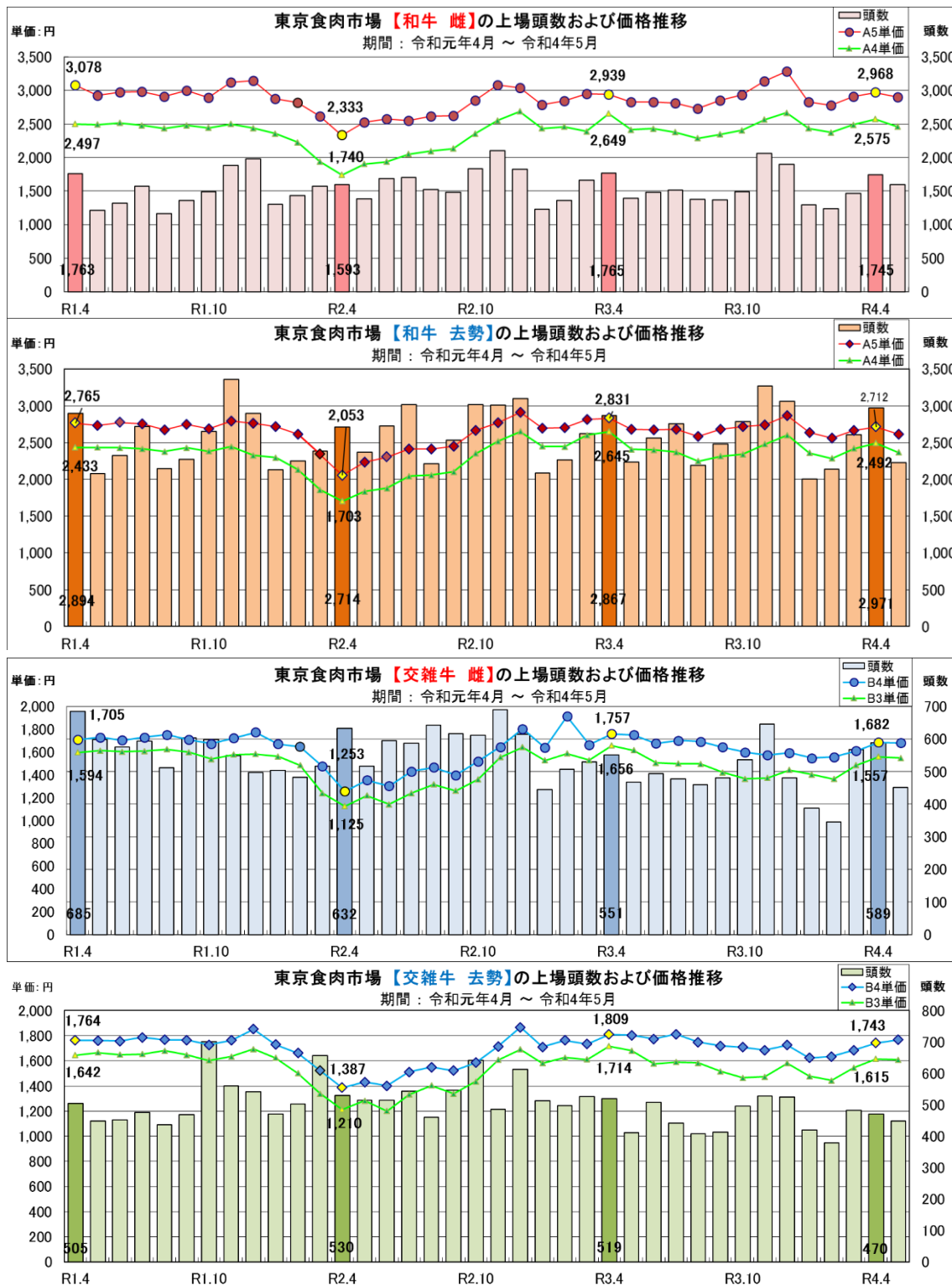
6月の相場は堅調に推移する見通し。

全農建値（税抜）予測レンジは570円～640円とする。

肉牛インフォメーション（5月）

● 5月の動向

和牛、交雑牛はいずれも弱もちあいとなった。GW明けは補充買いもあり価格を維持したものの、中旬からは全体的に下げ基調となった。



● 6 月の動向予測

東京の上場予定頭数は 7,200 頭で昨年より 300 頭ほど少ない。例年、梅雨に入り消費が停滞する時期であることに加え、食品などの値上げにより末端需要が鈍いことから相場はやや弱含むと予想する。

6 月相場は「弱含む」の展開と予想。

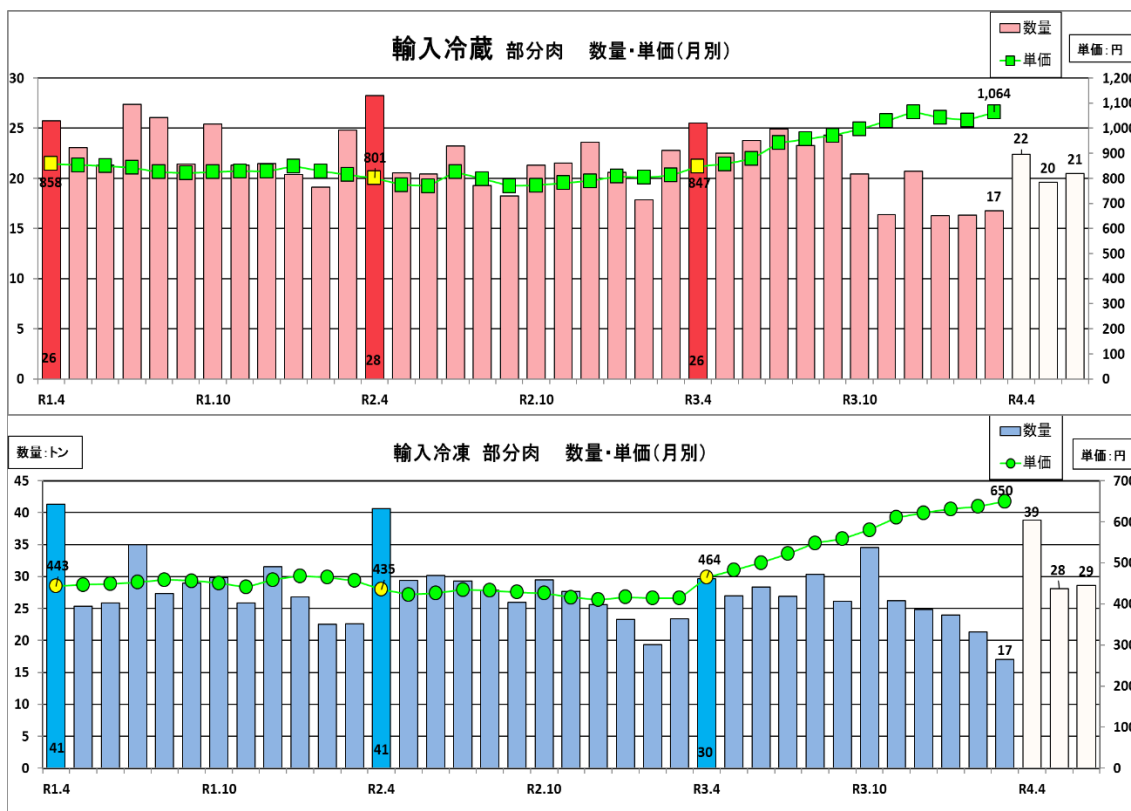
和牛去勢 A5 等級 2,650 円（税込み） A4 等級 2,450 円（税込み）

交雑去勢 B4 等級 1,700 円（税込み） B3 等級 1,600 円（税込み）

●輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、豪州産の生産量の減少や物流の混乱等により、5 月、6 月ともに前年同月をかなり大きく下回ると予測する。なお、3 カ月平均でも、前年同期をかなり大きく下回ると予測する。冷凍品輸入量は、5 月は、豪州産および米国産の輸入量は減少するものの、その代替としてカナダ産やニュージーランド産等が増加することから、前年同月をやや上回ると予測する。6 月は、前年同月の米国産の輸入量が少なかったことから、前年同月をわずかに上回ると予測する。なお、3 カ月平均でも、前年同期をかなり大きく上回ると予測する。

（A L I C 牛肉の需給予測について 5 月 2 6 日）



●消費動向

5 月以降は焼き材需要が高まる時期だが、食品などの値上げにより消費者の節約志向は強まっている。量販店では和牛売り場の縮小がみられ、旅館や外食店では乳牛、交雑牛の引き合いが強く、焼き材中心に荷が動いた。

●全農茨城県本部家畜市場動向

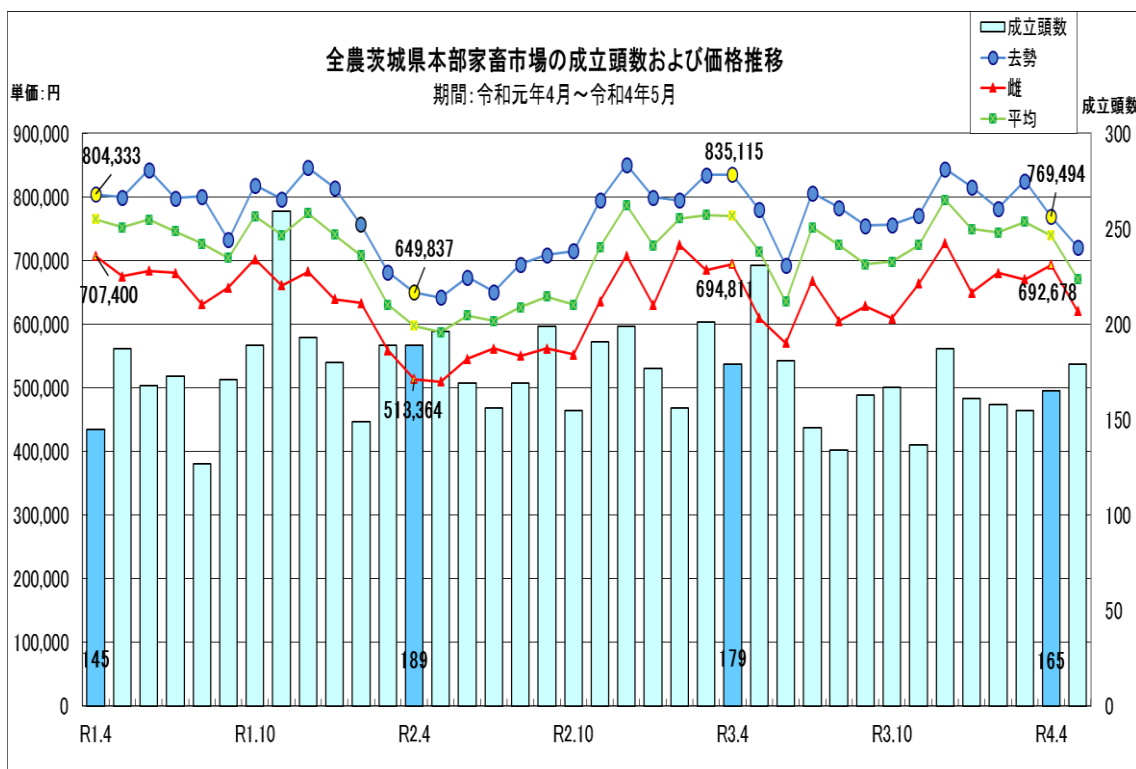
素牛平均価格（５月税込）は、黒毛和種の雌は 620,672 円で前月比▲72,006 円、去勢は 721,233 円で前月比▲48,261 円となった。上場頭数（成立）は 179 頭で前月比+14 頭。

次回上場頭数は 162 頭を予定している。

全農茨城県本部家畜市場実績（和牛子牛）

(税込)

	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年度 平均単価	673,129	597,847	587,552	614,164	605,310	626,590	643,417	630,988	721,612	787,489	723,844	766,531	772,200
去勢	734,165	649,837	642,142	674,214	650,911	694,492	709,130	714,912	794,798	850,944	799,476	794,563	834,562
雌	598,275	513,364	510,047	545,753	561,990	550,285	562,199	552,310	635,950	707,450	630,022	724,591	685,339
3年度 平均単価	730,497	770,842	714,424	635,683	752,483	724,531	694,491	698,157	724,764	795,341	749,776	744,087	761,385
去勢	787,183	835,115	780,016	692,025	806,078	783,500	754,794	756,500	771,029	844,433	815,667	781,744	825,290
雌	648,362	694,811	609,771	570,768	668,800	605,318	628,777	608,940	663,598	728,228	649,911	680,900	670,519
4年度 平均単価	705,234	739,233	671,234										
去勢	745,364	769,494	721,233										
雌	656,675	692,678	620,672										
2年度 成立頭数	178	189	196	169	156	169	199	155	191	199	177	156	201
3年度 成立頭数	167	179	231	181	146	134	163	167	137	187	161	158	155
4年度 成立頭数	172	165	179										



食肉インフォメーション（５月）

日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査４月度結果報告によると、3/22のまん延防止全面解除により全体売上は前年対比113.5%、2019年比では91.9%と概ね回復傾向となった。土日祝日の家族連れの外食需要が回復し、ファーストフードやファミレスが好調だった。一方で夜間の客足は依然として鈍く、居酒屋業態の苦戦が続いている。

量販店については、日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の４月の販売統計速報によると畜産部門の売上高は1,100億円(前年同月比98.3%、既存店ベース96.7%)で、内食需要が落ち着いたこと、輸入物の入荷不安定による価格上昇が続いたことにより前年対比で減少となった。

今年は３年ぶりに行動制限のないGWになるため、飲食店や観光・商業施設での需要回復に大きな期待が寄せられている。一方で、連休後は消費疲れにより和牛など単価の高い商品は例年低迷傾向になるが、食品の値上げなどの物価高騰が続く中ではさらに厳しい展開が予想される。

○牛肉

４月は、物価上昇が続く中での節約志向や輸入牛の代替需要から、和牛のスソ物・切落としといった焼き材や安価な交雑牛・ホルスの動きが堅調だった。一方で和牛ロースなどの高級部位はGWや母の日向けでの動きが月後半に出てきたものの、輸出需要の不振などから全体としての動きは鈍かった。輸入牛は依然として現地価格の高騰と入船遅れが続き、厳しい荷動きとなった。

○豚肉

４月は、国産では輸入物の代替需要から引き続きバラの動きが良く、学校給食の再開からウデ・モモも堅調だったが、物価上昇が続いたことで全体的には軟調気味だった。輸入豚はバラの引きが依然強いものの、円安相場による仕入価格高騰などにより全体的に動きは弱かった。

○業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和４年４月期） 単位：千円、％

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和２年３月	12,570	13,288	1,156	22,930	15,336	10,361	3,699	79,340
令和３年３月	13,863	14,375	6,743	25,681	13,870	11,951	10,042	96,525
令和４年３月	12,906	14,916	7,309	28,603	14,386	9,468	7,890	95,478
増減（R3-R4）	-957	541	566	2,922	516	-2,483	-2,152	-1,047
対比（R2-R4）	103%	112%	632%	125%	94%	91%	213%	120%
対比（R3-R4）	93%	104%	108%	111%	104%	79%	79%	99%